

# かしわの☆レポート



発行責任者：柏野大介 恵庭市住吉町2-2-14 web : <http://kashiwano.info/>  
 電話：090-2695-2880 FAX：0123-39-5333 Email : [dkashiwano@gmail.com](mailto:dkashiwano@gmail.com)



## ◆対案を提案するも採決すら拒否

9月13日から始まった第3回定例会は、決算委員会をはさみ、10月11日に閉会しました。最終日の議案審議において、以下の2つについて、行政の提案内容を一部修正した提案を行いました。自民党清和会から修正案の範囲を逸脱している、一事不再議の原則に反するとの指摘を受け、議会運営委員会の協議、議長決裁により、採決は行われませんでした。

## ◆選挙の公費負担はどうあるべきか（表中C）

国の基準額引き上げに伴って、恵庭市でも選挙の公費負担の上限額を引き上げる条例案が提案をされました。現在の公費負担制度は選挙カーによる選挙運動に偏重したもので、自治体はそれぞれの考え方をもち、時代に合わせた仕組みに変えていく必要があります。

私は、藤田議員とともに、選挙用自動車の費

用を抑え、ポスター作成について現実的な予備の支出を認める修正案を提案しました。しかし、清和会の議員から、議案の修正の範囲を逸脱しているという指摘を受けました。

議案の修正権は広く、案文の追加、拡張も含まれるとするのが地方自治法の一般的な解釈（地方自治法質疑応答集、第一法規）であり、採決を拒否するために、あえて無理な解釈をしているようにも見受けられます。

## ◆スポーツ振興条例の理念はどこへ（表中B）

次に提案をしたのは、体育施設条例の修正案です。市民スキー場（盤尻）のリフトは、これまで民間企業が保有し、市から管理の委託をしていました。老朽化に対応し適切な修繕管理を行うため、市に無償譲渡されることとなり、今後は市の所有となります。そのため、料金は他の体育施設と同様に条例で定めることとなります。



体育館などの体育施設では義務教育段階の小・中学生は特に心身の健全な成長を促すため、料金を低く設定しています。しかし、今回行政から提案された案は、民間施設だったときの中学生は大人料金という設定を引き継いでおり、他の体育施設との整合性が取れません。

これに対し、前田議員と私が提案者として、中学生については小人料金として、より積極的な利用を図ることを提案しましたが、議会で議決された案件は同一会期中に再び提出することができないという規定を援用し、採決をしない取り扱いとなりました。

私は、厚生消防常任委員会で①小人料金を引き下げる②中学生を小人料金とする修正案を提案しておりました。この案は賛成少数により、否決されましたが、本会議に提案をしたのは、②中学生を小人料金とするだけの提案です。

一事不再議とは、会議の効率性、議決の安定性を主な目的とする規定です。提案の内容も提

	(A) 認定案 1号	(B) 議案4 修正案	(C) 議案6 修正案	(D) 議案15
会派名・議員名	平成27年度一般会計決算	スキー場小人料金	選挙公費負担	平成28年度一般会計補正予算
清和会（自民党） 12名	○	採決 せず	採決 せず	○
公明党 3名	○			○
林議員（市民の会・無所属）	○			○
猪口議員（市民の会・無所属）	○			○
藤田議員（共産党）	×			×
柏野（無所属）	○			×
前田議員（無所属）	○			○

（第3回定例会の賛否）

（→裏面へつづく）

出先も違う、という事情からすれば、これを適用して、議会で採決を行わないという判断は、はたして正しいものなのでしょうか。

#### ◆図書館指定管理の議論はかみ合わず

今回の一般質問では、図書館の指定管理者制度と工業団地開発の意義をテーマとしました。

図書館の指定管理については、これまで教育委員会が説明してきたサービスの向上が、市の直営では達成できないのか、現行の読書活動推進計画の理念で指定管理者を導入すると、入館者数や貸し出し冊数が指標になるような図書館になってしまうという懸念を示しました。

私は、将来に渡って守るべき社会教育施設としての図書館の理念を条例等で定めるべき、と求めました。しかし基本理念として既にあるとして答弁で示されたのは、読書計画にある「本と出会い、人と出会い、つながり広がる読書のまち」ということのみでした。既存の選定の基準では管理経費の縮減に対する配点が高く、これでは図書館が単にコストの安いブックカフェになってしまう心配があります。議会閉会後の教育委員会指定管理者の決定が正式決定されました。

#### ◆工業団地は雇用を増やすのか

恵庭市は、雇用・人口増を目的として、新しい工業団地の造成を検討しています。

恵庭市内に居住し、市内で働く人は、平成7年をピークに減少しており、恵庭の就労人口も平成17年以降は減少しています。産業別就業人口などの統計を見ると、就業者が増えている業種は工業団地に立地するような業種ではなく、雇用増、人口増と工業団地開発は直接結びついていません。人口減少の中で、働き手の不足がすでに始まっています。このことを考えれば、近隣市との連携による就労と居住の役割分担をさらに進めていく時期に来ていることは明らかです。



#### ◆借金での施設解体には反対（表中D）

今回の補正予算に、国の補助金が余っているという理由で、恵庭市も費用負担し、古い建物を解体するという予算が可決されました。

平成26年までは、建物の解体のみについての自治体の借金は認められていませんでしたが、老朽化した公共施設の増加に伴い、制度の変更がありました。ただ、現在も将来の土地活用の見通しがあるということが基本です。

恵庭市が、昨年度末に作成した公共施設等総合管理計画の中でも、今回予算をつけたうち、旧教員住宅管理者住宅を解体するという方向性は示されていませんし、今後の土地活用の見込みもありません。

補助金があるから借金をしてでも壊すということではなく、今後は、既存の建物をいかにお金をかけずに活用できるかという時代です。

#### ◆決算では財政悪化の兆しも（表中A）

近年の投資的経費の増大により、財政は悪化の兆しが見え始めています。

借金残高が減っているという説明ですが、約20年前の地方債発行額があまりにも大きく、その償還と新規の地方債発行額の差が大きいです。これ以上の大型事業を続けるのであれば、将来に備えた積み立てをしっかりとしなければ、多大な負担を残すこととなります。

人口減少時代のまちづくりのあり方、お金の使い途、将来に何を残すか、一緒に考えていきたいです。

.....

かしの大介 facebook ページ・ブログでは、各記事のさらに詳しい説明や委員会での配布資料なども掲載しています。ぜひご覧いただき、コメントをお願いします☆

..... ブログ URL →



#### ■ あなたの声は議会に届いていますか

あなたが選んだ議員は、あなたの声を代弁していますか？みなさんが普段感じている恵庭市のこと、お話を聞かせていただけませんか。

みなさんからのご意見、ご質問など、意見交換のための報告会を開催します。ぜひご参加ください。個別にご連絡をいただければお話を伺いに参ります。

昼の部：2016年11月16日（水）10:00～11:30  
会場：柏陽会館（住所：柏陽町1-26）

夜の部：2016年11月17日（木）18:30～20:00  
会場：いくみ会館（住所：黄金北3-12-8）